

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

2 整備事業
(産地競争力の強化を目的とする取組用)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	事業実施後の状況①							作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	事業実施後の状況②							成果目標の具体的な実績② (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考				
						計画時(平成21年)①	1年後(平成22年)②	2年後(平成23年)③	3年後(平成24年)④	目標値(平成24年)⑤	⑥=⑤-①	⑦=④-①	達成率		計画時(平成21年)①	1年後(平成22年)②	2年後(平成23年)③	3年後(平成24年)④	目標値(平成24年)⑤	⑥=⑤-①	⑦=④-①	達成率														
						交付金	都道府県費	市町村費	その他	付	都道府県費	市町村費	その他																							
名護市	名護市西地区マンゴー生産組合	産地競争力の強化にむけた総合的推進	果樹(マンゴー)	品質向上	秀品の割合を12ポイント以上増加する。	26%	9.0%	26.0%	19%	38%	12.0%	-7.0%	-58.3%	秀品の割合目標に対する達成率が-58.3%	果樹(マンゴー)	生産性向上	10a当たり収量を27%以上増加する。	538kg/10a	770kg/10a	620kg/10a	718kg/10a	683kg/10a	145kg/10a	180kg/10a	124.1%	10a当たり収量目標に対する達成率は124.1%。	生産技術高度化施設 低コスト耐候性ハウス・アーチ型	21,840,000	10,920,000	2,184,000	0	8,736,000	H23.3.31	これまで、台風襲来による被害や開花結果期の温度等の気象条件の影響を受け、生産が不安定であった。本事業の導入により、台風被害の軽減、温度管理等の栽培環境の改善が図られ、また、摘果、灌水技術の向上に努めることで、単収の向上が図られた。品質については、台風や天候不順の影響により、ギズ果や散花病及び赤腐病等の発生が多く、秀品率が低下した。このため、二重カーテンの設置等の台風対策の強化、農家のへの病害虫の適期防除指導の徹底を取り組み、単収及び品質向上に取り組む。	県全体の平成24年度マンゴーの生産について、は、台風被害や日照不足等の天候不順により大幅な減産となったが、当該地区においては、台風対策の推進が図られ、単収向上につくの目標が達成されている。一方、秀品率の向上については、台風の影響、病害虫により目標達成に至っていない。引き続き、当該地域の都道府県協議会と連携し、生産農家への台風対策の強化、病害虫対策を推進し、秀品率の向上を図る。また、近年はチャノキイロガザミやマダラ病の被害が全県的な問題となっていることから、これも病害虫の防除について取り組んでいっている。	
石垣市	農業生産法人石垣島ファーマー新川地区	産地競争力の強化にむけた総合的推進	野菜(かぼちゃ)	労働時間の縮減	当該品目の単位面積当たりの労働時間を48%削減する。	309h/10a	309h/10a	180.4h/10a	175.9h/10a	161.4h/10a	-148h/10a	-133h/10a	90.2%	当該品目の単位面積当たりの労働時間を43%削減した。	野菜(スイートコーン)	労働時間の縮減	当該品目の単位面積当たりの労働時間を26%削減する。	60h/10a	60h/10a	56h/10a	50h/10a	44h/10a	-16h/10a	-10h/10a	62.5%	労働時間を16.7%削減した。	集出荷施設 育苗施設 90m ² 選別機1台 育苗機械1台	26,323,500	12,535,000	2,381,000	11,407,500	H23.7.31	地域において担い手の高齢化が進む中、かぼちゃにおいては若年層でも栽培意欲が高まりつつあり、栽培面積が増えていている。また、法人は施設等の整備により労働時間の削減、良質健苗の利用が可能となり安定生産及び品質向上につながっている。また、集荷施設が完備された事により出荷が円滑に行われ、労働時間が削減された。スイートコーンにおいては、出荷調整にかかる労働時間は削減されたが、病害虫対策等の栽培管理においては労働時間が必要である。今後は、計画達成に向けて、生産者間で技術向上に向けた取組みを進める。	かぼちゃは、施設等の整備により労働時間の削減が図られ、目標を概ね達成されている。また、育苗施設の整備により良質な苗の生産が可能になったことから、安定生産及び品質向上につながっている。一方、産地競争力の強化が図られていると評価でおり、産地競争力の強化が図られていると評価でおり、産地競争力の強化が図られたが、病害虫対策等の栽培管理において時間を使い、達成状況が低い。今後は、関係機関による技術指導の強化等により、栽培管理の改善を図り、労働時間の削減に向けて取り組む。		
久米島町	沖縄県花園芸農業協同組合	産地競争力の強化にむけた総合的推進	花き(キク)	生産性向上	10a当たり収量目標を増加する。	33,193本/10a	0本/10a	35,436本/10a	34,304本/10a	42,000本/10a	8,807本/10a	1,111本/10a	12.6%	10a当たり収量目標に対する達成率は12.6%。	花き(キク)	品質向上	当該品目の全出荷量に占める産地オリジナル品種の出荷割合を増加する。	37%	0%	40%	55%	55%	18%	18%	100%	全出荷量に占める産地オリジナル品種の出荷割合に対する達成率は100%。	農作物被害防止施設(3,337m ²)	11,392,500	5,250,000	1,050,000	5,092,500	H23.3.30	全体としては、平張施設導入により、台風の被害が減少したため安定した出荷が可能になった。しかし、24年度は大型台風の相次ぐ襲来の影響により甚大な被害があり、減収となりました。今後は、事業の台風対策の徹底や台風後の灌水を十分に行い、出荷向上を図ることで、オリジナル品種の出荷割合向上につながることは、品質により販路による被害も軽減できたことから、品質向(自選車の向)が図られた。特に、施設導入によって2回転出荷が可能となつたため、反収が増加し、農家所得の向上がみられた。	単収の向上については、24年度の大型台風の相次ぐ襲来の影響により県全体でも大幅な減収が見られ、当該地域においても同様の結果となつた。今後、干ばつや塩害等の気象条件における対策技術の向上や関係機関の連携を図り台風対策の指導を徹底し、単収の向上に取り組む。		

都道府県平均達成率	55.2	総合所見	平成22年度に実施した産地競争力の強化(対象3ヶ所)の都道府県達成率は約55.2%と目標を達成することができなかった。 果樹が対象作物の事業については、低コスト耐候性ハウスの導入により台風対策の推進が図られ被害の軽減により単収は向上したが、品質については台風や天候不順の影響により秀品率が低下した。 野菜が対象作物の事業については、施設等導入により育苗、出荷調整等にかかる単位あたり労働時間の削減が図られたが、スイートコーンで、病害虫対策等において労働時間が発生し、計画達成率が低くなつた。 花井が対象作物の事業については、平張施設の導入により産地オリジナル品種出荷割合が増加したが、単収は台風や天候不順の影響で目標を達成しなかつた。 すべての地区において目標を達成しなかつた結果があることから、目標達成に向けて重点的に指導を行っていく。
-----------	------	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) 1 別紙様式1号の2-1に準じて作成すること。

2 要領第1の1の(2)のア)及びイ)場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

3 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

4